



政治を変えれば暮らしも変わる さとう正雄

“日に日に世のなか悪くなる…
気のせいかな？”と
思いのみなさんへ

毎日、気が重くなるようなことばかりですね。
「それなのに政治は、庶民のくらしのことなんか、ちっとも
わかっていない」——こんな声を、たくさんいただきます。
国の政治をみても、トランプ政権が「防衛費を増やせ」と
いえば、すぐに軍拡を約束する自民党・維新政権。
福井でも、「アリーナつくれば活力が増す」と、県民の苦
労を尻目に、税金をドカドカ投入しようとする…。

でも、そうした政治の在り方に未来はありません。
人の暮らし、人権そのものを尊重できない自民党の政
治を変えるチャンスです。
日本共産党は、103 年前に党をつくった直後から、治安
維持法の弾圧と対決し、平和と人権、暮らしのために力を
つくしてきました。
みなさんの願いにこたえる共産党の議員がいまこそ県
政に必要です。
県民の願いが生きる県政へ、全力でがんばります。

2026 年 1 月
知事選



ジェンダー平等を福井から かねもと幸枝

「不祥事でやめた人に退職金6000
万円、信じられない」。——セクハラは
女性の尊厳を深く傷つけます。あいま
いにはいけません。
女性が働き、暮らしやすい社会は、み
んなが大切にされる社会です。そんな
福井となるよう頑張ります。

スクープで社会を動かす

しんぶん赤旗

日刊
日曜版

電子版

あなたのスマホに/
お申込み 詳しい情報

特設Webサイト



物価
たかっ！



ハラスメント
なくして！



戦争はやっぱり
イヤ！

2026 年 1 月
県議補選

迷走する
県政に、今こそ



佐藤正雄 共産

さとう正雄プロフィール ● 一九五九年、坂井市
(旧坂井町)生まれ ● 三国高校、中京大学卒業
● 坂井町役場に務めたのち、日本共産党の専従職
員に ● 一九九九年、県議に初当選し、これまで五
期にわたり奮闘 ● 光陽一丁目に住む妻と暮らす
● 気分転換は読書と落語で

福井民主新聞

2026年1月号外

日本共産党

前県議会議員

さとう正雄

発行：日本共産党福井県委員会 福井市二ノ宮5丁目7-25 ☎0776(27)3800